



長門市

記者配布(発表)資料

発信年月日：令和8年3月10日

所属部課名		連絡先	TEL:0837-22-3703 FAX:0837-22-3700
観光スポーツ文化部 スポーツ文化交流課			
件名	重要文化財 有柄細形銅剣（ゆうへいほそがたどうけん） 修理後の成果をメディア向けに公開します		

有柄細形銅剣は明治34年(1901年)に山口県大津郡向津具村(現在山口県長門市油谷)の王屋敷(おうやしき)遺跡で発見されました。剣身と柄を一体として鑄造した珍しい銅剣で、弥生時代中期頃に大陸から伝わったと考えられます。昭和31年(1956)に国の重要文化財に指定されました。

本銅剣は令和6年に長門市に寄託され、長門市が管理団体として指定されています。令和7年度に保存修理事業を完了し、令和8年度に公開を予定しています。公開に先立ち、下記の日時にメディアの皆さま向けに公開し、保存修理の概要、有柄細形銅剣の歴史的な位置づけなどについてご説明いたします。

会見では、古代の青銅器に精通した愛媛大学ミュージアムの吉田広先生(※)に同席いただきます。取材についてよろしくお願ひします。

なお、取材を希望される場合は、事前にお申込みいただきますようお願いいたします。

1 取材可能日時 令和8年3月21日(土) 13:00～

2 開催場所 長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)

3 会見スケジュール

13:05～ 保存修理の概要説明(柏本文化財専門員)

13:15～ 有柄細形銅剣の概要説明(吉田広先生)

13:30～14:00 銅剣の撮影時間

4 問い合わせ・申し込み先

長門市総合文化財センター(ヒストリアながと)

〒759-4101 山口県長門市東深川2660番地4

TEL:0837-23-1264 FAX0837-22-3700

※吉田広(よしだひろし)

1967年愛媛県生まれ。専門は考古学。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。京都大学文学部助手を経て、現在、愛媛大学ミュージアム教授。主な著書・論文に「弥生青銅器祭祀の展開と特質」『国立歴史民俗博物館研究報告』第185集、『出雲神庭荒神谷遺跡』(共著)など。

有柄細形銅剣 取材申込票

会社名	
-----	--

代表取材者名	連絡先（携帯番号）

E-mail

取材者氏名	属性（記者、ムービー、音声、スチールなど）
-------	-----------------------

--	--

--	--

--	--

※事前にご質問があればご記入ください。取材当日に受けた質問は、後日の回答になります。

--

申込方法 FAXまたはメール

■FAX 0837-22-3700 長門市文化財保護室 担当：中野 まで

■メール bunkazai@city.nagato.lg.jp

申込締切 3月19日（木）